

プログラム〔講演〕

総会長講演

感染症検査の過去・現在・未来

2月3日(日) 8:30～9:00

第1会場(メインホール)

演者: 菅野 治重(医療法人社団徳風会 高根病院 副院長)

座長: 山中喜代治(株式会社エスアールエル, 株式会社マイクロメディカル
ラボラトリー)

招請講演

The current status of multiple-drug resistant bacteria in Europe

2月2日(土) 9:00～10:00

第1会場(メインホール)

演者: Rafael Cantón (Servicio de Microbiología. Hospital Universitario Ramón
y Cajal and Instituto Ramón y Cajal de Investigación Sanitaria (IRY-
CIS). Madrid. Spain. Departamento de Microbiología II)

座長: 館田 一博(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

教育講演1

臨床的に重要かつ同定困難な細菌

2月2日(土) 15:30～16:30

第2会場(503)

演者: 大楠 清文(岐阜大学大学院医学系研究科病原体制御学分野)

座長: 柳原 克紀(長崎大学病院検査部)

教育講演2

感染症重症化のメカニズムー病態生理に基づいた重症敗血症の診断と治療

2月3日(日) 11:00～12:00

第1会場(メインホール)

演者: 織田 成人(千葉大学医学部附属病院 救急部・集中治療部)

座長: 渡邊 彰(東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門)

シンポジウム 1

多剤耐性菌の世界の流行状況

2月2日(土) 10:00~12:00

第1会場(メインホール)

座長: 池 康嘉(群馬大学大学院 医学研究科 細菌学)

川上小夜子(帝京大学医学部附属病院 感染制御部)

1. 日本の流行状況
池 康嘉(群馬大学大学院医学研究科細菌学)
2. The Changing Epidemiology of Antimicrobial Resistance in China from 1998 to 2011
Lv Yuan (Institute of Clinical Pharmacology, Peking University First Hospital, Beijing 100034, China)
3. Epidemic situation of multiple-drug-resistant bacteria in the world: situation in Korea
Kyungwon Lee (Department of Laboratory Medicine and Research Institute of Bacterial Resistance Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea)
4. Methicillin-resistant and vancomycin-intermediate *Staphylococcus aureus* in Taiwan: phenotypic characteristics, molecular epidemiology, and biomarkers
Jang-Jih Lu (Department of Laboratory Medicine, Chang-Gung Memorial Hospital, Linkou, Taoyuan, Taiwan)
5. Epidemic Situation of Multidrug-resistant Bacteria in the World Current Status in Asia
Po-Ren Hsueh (Divisions of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, Departments of Laboratory Medicine and Internal Medicine, National Taiwan University Hospital, National Taiwan University College of Medicine, Taipei, Taiwan)

シンポジウム 2

多剤耐性菌の検出法(判定基準を含めて)

2月2日(土) 13:45~15:45

第1会場(メインホール)

座長: 荒川 宜親(名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学/耐性菌制御学)

小松 方(天理医療大学 医療学部 臨床検査学科)

1. プラスミド性 AmpC β -Lactamase 産生株の検出法
山崎 勝利(和歌山労災病院 中央検査部)
2. 基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ(ESBL) 産生株の検出方法
鈴木 里和(国立感染症研究所細菌第二部)

プログラム〔講演〕

3. カルバペネマーゼ産生株の検出法

和知野純一（名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学／耐性菌制御学）

4. OXA-型カルバペネマーゼ産生アシネトバクター属菌の検出法

石井 良和（東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座）

シンポジウム3

多剤耐性菌感染症の治療法

2月2日（土）15：45～17：45

第1会場（メインホール）

座長：二木 芳人（昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門）

中村 竜也（関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部）

1. 新薬開発の状況

八木澤守正（慶應義塾大学薬学部）

2. 米国における多剤耐性菌治療の現状

土井 洋平（ピッツバーグ大学医学部感染症内科）

3. 多剤耐性グラム陰性菌感染症の治療法

三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学，愛知医科大学病院 感染症科／感染制御部）

4. 日本における多剤耐性菌治療の現状 MRSA & MDRP

浅利 誠志（大阪大学医学部附属病院 感染制御部/検査部）

シンポジウム4

真菌の感受性検査とその臨床的役割

2月3日（日）9：00～11：00

第1会場（メインホール）

座長：亀井 克彦（千葉大学真菌医学研究センター）

阿部美知子（北里大学 医療衛生学部 医療検査学科）

1. 各種抗真菌薬の種類と特徴：PK/PDを含めて

堀 誠治（東京慈恵会医科大学 感染制御部）

2. 抗真菌薬の“MIC”測定法と問題点

前崎 繁文（埼玉医科大学 感染症科・感染制御科）

3. 感受性検査成績の臨床への応用

渡辺 哲（千葉大学医学部附属病院 感染症管理治療部／同真菌医学研究センター）

4. 感受性検査の精度管理

阿部美知子（北里大学 医療衛生学部 医療検査学科）

シンポジウム5

やるべき検査・やめるべき検査

2月3日(日) 13:30~15:00

第1会場(メインホール)

座長: 上原すゝ子(千葉大学, 埼玉医科大学小児科)

相原 雅典(ファルコバイオ・システムズ東京研究所)

1. 喀痰洗浄法

上原すゝ子(千葉大学, 埼玉医科大学小児科)

2. *Clostridium difficile* の培養検査

加藤 はる(国立感染症研究所 細菌第二部)

3. 下痢原性大腸菌の血清型別検査

飯島 義雄(神戸市環境保健研究所 微生物部)

4. ブレークポイントパネルによる薬剤感受性検査

川上小夜子(帝京大学医学部附属病院 感染制御部)

シンポジウム6

抗酸菌検査の現状と課題

2月3日(日) 9:00~11:00

第2会場(503)

座長: 御手洗 聡(結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンス部)

玉井 清子(株式会社ミロクメディカルラボラトリー)

1. 抗酸菌検査の現状・一体何が問題なのか

玉井 清子(株式会社ミロクメディカルラボラトリー)

2. 菌種同定の必要性と範囲・どこまでやればいいのか

吉田志緒美(NHO 近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター)

3. 薬剤感受性試験・どこまで正しいのか

松本 智成(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床研究部)

4. 結核感染診断・どこで割り切るのか

藤山 理世(神戸市中央区保健福祉部 兼 神戸市保健所)

5. 抗酸菌分子疫学の現状と課題

村瀬 良郎((公財)結核予防会結核研究所・抗酸菌レファレンス部結核菌情報科)

ベーシックレクチャー

定説を検証する

座長：永沢 善三（佐賀大学附属病院 検査部）

1. 2回目以降の血液培養の必要性

2月2日(土) 9:00～9:30

第6会場 (315)

演者：中村 文子（順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部）

2. Miller & Jones 分類と Geckler 分類による喀痰の品質管理法の有用性

2月2日(土) 9:30～10:00

第6会場 (315)

演者：相原 雅典（株式会社ファルコバイオ・システムズ東京研究所）

座長：青木 泰子（国立病院機構 東京医療センター）

3. 便の塗抹検査は不要

2月2日(土) 10:00～10:15

第6会場 (315)

演者：香取 直哉（高根病院 検査部）

4. *Campylobacter* の感受性検査

2月2日(土) 10:15～10:45

第6会場 (315)

演者：丸山 英行（千葉県済生会習志野病院 検査科（東関東耐性菌研究会））

座長：渡邊 邦友（岐阜大学）

5. 喀痰の嫌気性菌検査はやるべきではない

2月2日(土) 10:45～11:00

第6会場 (315)

演者：国広 誠子（山口県立総合医療センター 中央検査部）

6. 嫌気性菌にはディスク法・E-testによる感受性検査は不適

2月2日(土) 11:00～11:30

第6会場 (315)

演者：小栗 豊子（亀田総合病院 臨床検査部）

座長：荒川 創一（神戸大学大学院医学研究科（附属病院感染制御部））

7. 尿路感染症の原因菌＝尿中菌数 $\geq 10^5$ /cfu/mlか？

2月2日(土) 14:00～14:30

第6会場 (315)

演者：荒川 創一（神戸大学医学部附属病院感染制御部）

8. 尿から分離された CNS は同定しなくて良い

2月2日(土) 14:30～14:45

第6会場 (315)

演者：渡邊 正治(千葉大学医学部附属病院検査部)

座長：柴田 尚宏(JA 岐阜厚生連 東濃厚生病院)

9. 遺伝子検査が必要な腸内細菌科の耐性菌

2月2日(土) 14:45～15:15

第6会場 (315)

演者：長野 則之(船橋市立医療センター 微生物検査室, 国立感染症
研究所 細菌第二部)

10. 地域における耐性菌サーベランス事業の重要性

2月2日(土) 15:15～15:45

第6会場 (315)

演者：中村 竜也(関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部／感染制御
部)

菌株保存の重要性

座長：江崎 孝行(岐阜大学医学部・病原微生物遺伝子資源保存センター)

11. 菌株保存事業は新しい臨床細菌研究を目指す検査技師を支援する

2月3日(日) 9:00～9:30

第6会場 (315)

演者：江崎 孝行(岐阜大学医学部・病原微生物遺伝子資源保存セン
ター)

12. 臨床の立場から

2月3日(日) 9:30～10:00

第6会場 (315)

演者：上原すゞ子(千葉大学 埼玉医科大学小児科)

13. 菌株保存の重要性

2月3日(日) 10:00～10:30

第6会場 (315)

演者：柳沢 英二(ミロクメディカルラボラトリー)

日本・大韓民国合同セミナー

日韓における薬剤耐性菌検査の現状と検出状況～グラム陰性桿菌を中心に～

2月3日(日) 10:00～11:20

第3会場(502)

司会：長沢 光章(東北大学病院 診療技術部)

金 敏中(檀國大學病院 診断検査醫學科／Dankook University Hospital)

1. Methods of screening and confirmatory tests for suspected ESBLs and/or carbapenemase producing gram negative bacilli in Seoul National University Hospital.

演者：Lee, Hyun (Department of Laboratory Medicine, Seoul National University Hospital)

2. Antimicrobial resistance of gram negative bacilli in Seoul National University Hospital for the past 10 years.

演者：Joo, Sae-Ick (Department of Laboratory Medicine, Seoul National University Hospital, Seoul, Korea)

3. 日本における耐性菌検査法の実状～グラム陰性桿菌を中心に～

演者：堀 光広(岡崎市民病院 医療技術局)

4. Antimicrobial resistance of gram negative bacilli in Japan Nosocomial Infections Surveillance (JANIS) data for the past 10 years.

演者：島川 宏一(株式会社エスアールエル 臨床検査事業検査部門 関西検査部)

編集・ホームページ委員会企画

論文の書き方講習会

2月2日(土) 14:00～15:00

第2会場(503)

論文作成のすすめ

司会：高橋 孝(北里大学大学院感染制御科学府感染症学研究室)

1. 論文作成のポイント

演者：大楠 清文(岐阜大学大学院医学系研究科 病原体制御学分野)

2. 論文査読のシステムと作法

演者：菊池 賢(順天堂大学医学部感染制御科学／細菌学／総合診療科学)

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告

2月2日(土) 15:00～15:30

第2会場(503)

司会：江崎 孝行(岐阜大学大学院医学系研究科再生分子統御学講座 病原
体制御学分野)

1. 急性単純性膀胱炎，尿道炎

演者：安田 満(岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科)

2. 耳鼻咽喉科領域感染症

演者：鈴木 賢二(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 耳鼻咽喉科・頭
頸部外科)

第9回認定臨床微生物検査技師・第11回ICMT合同講習会

2月3日(日) 15:30～17:30

第2会場(503)

総合進行：長沢 光章(認定臨床微生物検査技師制度審議会会長，東北大
学病院)

挨拶：戸塚 恭一(認定臨床微生物検査技師制度協議会会長，日臨微
学会理事長)

1. 日本臨床微生物学会認定医制度の創設と認定技師・ICMTとの連帯

司会：戸塚 恭一(日本臨床微生物学会理事長，東京女子医科大学)

演者：岩田 敏(日臨微認定医制度委員会委員長，慶應義塾大学医学
部)

2. 2012年感染症・検査トピックスと日常検査に求められるスキル2

司会：細川 直登(日臨微認定技師制度副委員長，亀田総合病院)

演者：三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部)

3. 地域連携による院内感染対策～ICMTの役割～

司会：賀来 満夫(日臨微ICMT・院内感染対策委員会委員長，東北大
学医学部)

演者：吉田 弘之(神戸大学医学部附属病院 感染制御部)

総合討論(認定臨床微生物検査技師・ICMTに関するQ & A)

ICD 講習会

多剤耐性菌に対する院内感染防止対策

2月3日(日) 15:45～17:15

座長：猪狩 英俊(国立病院医機構千葉東病院)

中澤 武司(順天堂大学医学部附属浦安病院)

1. 感染防止対策を講じる必要がある耐性菌出現状況

演者：渡辺 哲(千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部)

2. 多剤耐性菌保有患者の管理と環境整備～当院 outbreak 事例から～

演者：佐々木信一(順天堂大学浦安病院呼吸器内科, 感染対策室)

3. 多剤耐性菌に有効な消毒法と手指衛生

演者：鈴木 明子(城西国際大学看護学部看護学科)

4. 感染経路の把握のための疫学調査

演者：奥川 周(東京大学医学部附属病院感染制御部)

常設展示 ワークショップ

2月2日(土)・2月3日(日)

1. Nocardia の同定と感受性検査

矢口 貴志(千葉大学真菌医学研究センター)

2. プロによる塗抹所見の取り方と, バーチャルスライドが広げる画像診断

相原 雅典(ファルコバイオシステムズ東京研究所)

3. 顕微鏡供覧

茂籠 邦彦(彦根市立病院臨床検査科)

ランチョンセミナー1

感染症診療における耐性菌検査の過去, 現在, 未来

2月2日(土) 12:15～13:15

第2会場(503)

演者：松本 哲哉(東京医科大学微生物学講座 東京医科大学病院感染制御部)

座長：賀来 満夫(東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー2

ノロウイルス感染症における迅速診断法の有用性

2月2日(土) 12:15~13:15

第3会場(502)

演者: 山崎 勉(若葉こどもクリニック)

座長: 片山 和彦(厚生労働省 国立感染研究所 ウイルス第二部 第一室)

共催: 栄研化学株式会社

ランチョンセミナー3

整形外科領域感染症におけるリアルタイムPCRを用いた術中迅速診断—メチシリン耐性菌の特異的検出とグラム陽性、陰性菌の判別—

2月2日(土) 12:15~13:15

第4会場(501)

演者: 小林 直実(横浜市立大学医学部 整形外科)

座長: 本島 新司(亀田総合病院 リウマチアレルギー内科)

共催: 第一三共株式会社

ランチョンセミナー4

マイコプラズマの生物学的サプライズと、その治療戦略

2月2日(土) 12:15~13:15

第6会場(315)

演者: 成田 光生(札幌徳洲会病院 小児科)

座長: 舘田 一博(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

共催: 大正富山医薬品株式会社

ランチョンセミナー5

質量分析装置MALDIバイオタイパーを使用した運用メリットと将来像

2月2日(土) 12:15~13:15

ランチョンセミナー会場(411+412)

演者: 小松 方(天理医療大学 医療学部 臨床検査学科)

座長: 浅利 誠志(大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

共催: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

ランチョンセミナー6

感染症診断と微生物検査の未来—質量分析を用いたバイテックMSの役割（仮題）

2月2日（土）12：15～13：15

ランチョンセミナー会場（414+415）

演者：渡 智久（旭川医科大学 臨床検査・輸血部）
浅原 美和（帝京大学医学部附属病院 中央検査部）

座長：柳原 克紀（長崎大学病院 検査部）

共催：シスメックス・バイオメリュー株式会社

ランチョンセミナー7

聞きなれない細菌とその感染症

2月2日（土）12：15～13：15

ランチョンセミナー会場（416+417）

演者：大塚 喜人（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部）

座長：青島 正大（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 呼吸器内科）

共催：アリーアメディカル株式会社

イブニングセミナー1

CLSIのブレイクポイントを再考する

2月2日（土）17：50～18：50

第1会場（メインホール）

演者：川上小夜子（帝京大学医学部附属病院 感染制御部）

座長：二木 芳人（昭和大学医学部臨床感染症学）

共催：塩野義製薬株式会社

イブニングセミナー2

MRSA 菌血症の基礎と臨床

2月2日（土）17：50～18：50

第2会場（503）

演者：高田 徹（福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科学）

座長：砂川 慶介（北里大学 北里生命科学研究所・大学院 感染制御科学府）

共催：MSD 株式会社

イブニングセミナー3

変貌する真菌感染症

2月2日(土) 17:50~18:50

第5会場(511+512)

演者: 宮崎 義継(国立感染症研究所 真菌症担当部(生物活性物質部))

座長: 前崎 繁文(埼玉医科大学 感染症科・感染制御科)

共催: 大日本住友製薬株式会社

ランチョンセミナー8

GeneXpertによる革新的な迅速遺伝子検査

2月3日(日) 12:15~13:15

第2会場(503)

演者: 三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学, 愛知医科大学病院 感染症科/感染制御部)

座長: 中村 敦(名古屋市立大学大学院医学研究科 腫瘍・免疫内科学 呼吸器内科, 名古屋市立大学病院 感染制御室)

共催: セフィエド合同会社

ランチョンセミナー9

検査室の新しい流れ, Luminex多項目同時解析アッセイ

2月3日(日) 12:15~13:15

第3会場(502)

演者: 感染症の遺伝子検査の新たな潮流: 多項目同時測定の今後の展望

大楠 清文(岐阜大学大学院医学系研究科 病原体制御学分野)

胃腸病原体検査における多項目同時解析がもたらすインパクト

森永 芳智(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座 病態解析・診断学分野)

座長: 柳原 克紀(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座 病態解析・診断学分野 長崎大学病院 検査部)

共催: ルミネックス・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー10

急性呼吸器感染症における迅速診断キットの現状と展望

2月3日(日) 12:15~13:15

第4会場(501)

演者: 池松 秀之(九州大学 先端医療イノベーションセンター)

座長: 高橋 弘志(君津中央病院 医療安全部 感染制御室)

共催: 株式会社タウンズ

ランチョンセミナー11

呼吸器感染症診療における血清 β -D-グルカンの有用性

—ニューモシスチス肺炎を中心に—

2月3日(日) 12:15～13:15

第5会場(511+512)

演者: 田坂 定智(慶應義塾大学医学部 呼吸器内科)

座長: 大塚 喜人(亀田総合病院 臨床検査部)

共催: 和光純薬工業株式会社

ランチョンセミナー12

2月3日(日) 12:15～13:15

第6会場(315)

座長: 戸塚 恭一(東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)

演者: 検出すべき耐性因子と耐性菌の疫学

館田 一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

耐性菌感染症に対する新しい治療戦略

石井 良和(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

共催: ファイザー株式会社